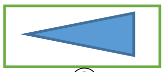
音楽づくり部会　１０月３１日　　指導案検討につい　　記録者　今井小学校　原　志

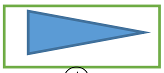
□第１時のモデル演奏について

・図形譜（４種類）を見て、声や手拍子で表してみる。（教師の指揮あり）

・・○○
①

○○・・
②


③


④

①　と③のちがいは？　　②と④のちがいは？　と発問する。

・好きな楽器を選ぶ（１０分程度）→選んだ楽器で図形譜を表す。

④　と　①　を全員でやってみる。

「みんなでつなげると、どんな音楽になるのかな。」

※こういう音楽にしたいから、この楽器という思いにつながるようにする。

・一人ひとり、じゅんばんの演奏し、味わう時間を設ける

※１時では、自分の音をこうしたい！
の思いを大事にする。

・いろいろな表現があるんだな
・人にわかるように強弱をつけよう

※高低のある楽器でも、その子なりの
強弱を表現できていればよい。（強弱は何通りもある）

ウッドブロックやアゴゴベルなど楽器の特徴を楽しめるとよい。演奏の工夫

・みんなで試しながら音楽をつくる（教師主導）　→　**第２時につながる**

①　①　①　①　等　みんなで演奏したり、カードを増やしたりして変化を楽しむ。

※このとき音にこだわる児童の演奏を紹介する。（モデルとなる）

※全員同時に演奏したり、問いと答え、繰り返しなどの仕組みも意図的に入れていく。

※終わり方の工夫も意図的に触れる。（落ち着いて終わる・迫力を出しておわる）

※楽器の特徴のヒントも意識づける。「木だと、はっきりする音だね」「金属だと落ち着くね」など、音楽づくりのよりどころを示しておく。

□第２時（本時）

・前時の振り返り

・グループごとに自分の楽器の紹介タイム（音色奏法）

・音楽づくりのモデルを示す。　子どもと試しながら作る。

・約束事に確認

約束事

・はじめ、おわりはカード一枚選び、みんなで演奏
・中は用紙（譜面台２台分）に入るだけ、自由に。（小節は５から８）
・音を出して確かめながら、音楽づくりをすすめる。

<ねらいたいこどもの姿>

「盛り上げて終わりたい」

「一人ひとりを目立たせたいから、ソロを入れました」

「私たちの音って、キラキラ。キラキラが生かせる音楽にしよう」

グループ編成は、児童が１時で決めた楽器をもとに教師が行う。
木、金属、様々な組み合わせなど意図を持ったグループをつくる。
グループの音のよさに気付けるとよい。気付けなかったときは、教師が価値付ける。

※学習課題について

「まとまりのある音楽」という言葉は入れない。

はじめ、中、おわりの構成を提示した時点で、まとまりのある音楽はつくることができ、達成されるため。「はじめとおわりが揃うと、まとまっていていいね」など、教師が意識的に声をかける。

・グループ紹介を入れる。

第３時で練り上げをするので、本時の終わりに紹介を入れ、次につなげる意識を高める。

思いや意図を明確にしている所を選び、それを表現できているか話し合う場を設ける。

第２時では、強弱と変化に注目するが、第１時の楽器が醸し出す音色に注目して音の出し方にこだわることが、思いや意図となり重要である。そして、仕組みを使ってつなげたり重ねたりする楽しさを身に付けさせたい。